

# 平成 22（2010）年度 第 4 四半期業務報告

## 添付資料

- 資料 1 改革推進プロジェクト等の開催状況
- 資料 2 22 年度の主な受賞番組
- 資料 3 NHK オンデマンド主要数値



日本放送協会

## 「改革推進プロジェクト」等の開催状況(平成22年度第4四半期)

平成23年

### 1月7日 改革推進会議(第6回)

- ▽本部部長・全国放送局長会議にあわせて、本部の各部長と全国の放送局長による「改革推進会議」を開催した。
- ▽次期経営計画の検討の状況について共有し、意見交換を行うとともに、22年度の取り組みの総括と23年度部局目標(放送局のちから)の設定について説明を行い、情報を共有した。

### 1月25日 経営委員会に平成22年度第3四半期業務報告

- ▽経営委員会への会長報告(案)は、経営企画局が改革推進プロジェクトと連携して取りまとめた。

### 1月28日 ブロック経営会議(第8回)

- ▽第3四半期業務報告を経営委員会に報告したことを受け、ブロック経営会議を開催した。
- ▽受信料収納の課題と対応、接触者率向上に向けた取り組みと課題について情報を共有し議論を行った。
- ▽また、今年度の営業業績の確保に向け、現状と今後の活動について報告し、情報を共有した。
- ▽完全デジタル化の各地の進捗状況と課題について報告するとともに、アナログ放送終了に向けた今後の対応や、デジタル化推進に向けた取り組みについて状況の共有と意見交換を行った。
- ▽また、次期経営計画の検討状況について報告し、情報の共有を図った。

### 1月31日 改革推進プロジェクト 方針4(地域)・分科会

- ▽各拠点局の副局長、地域放送に関係する本部各部局の担当者が出席し、「改革推進プロジェクト・地域分科会」を開催。次期経営計画の策定に向け、地域放送の現状と課題を確認するとともに、今後の地域放送に関する基本方針、方向性等について検討した。拠点局の支援機能、本部の支援、人材育成の仕組み、新サービスへの対応、要員などについて現状と課題を確認し、意見交換を行った。

## 2月 1日 改革推進プロジェクト 方針2（国内放送）方針3（新サービス）・分科会

▽国内放送、新サービスに関係する各部局の担当者が出席し、「改革推進プロジェクト・国内放送、新サービス分科会」を開催。次期経営計画の策定に向け、国内放送と新サービスの現状と課題を確認するとともに、今後の基本方針、方向性等について意見交換を行った。

## 2月 4日 改革推進プロジェクト 本部担当者会議

- ▽「第8回ブロック経営会議」との一連のものとして、本部担当者による改革推進プロジェクト会議を開催。
- ▽「第8回ブロック経営会議」の議事内容を確認するとともに、第3四半期報告を踏まえた課題の点検と共有を行った。
- ▽また、平成23年度の事業計画工程表の策定について、9方針ごとにポイントを確認し意見交換を行うとともに、作業の進め方、スケジュールについて確認した。
- ▽また、アナログ放送終了に向けた今後の対応や、デジタル化推進に向けた取り組みについて状況の共有と意見交換を行った。

## 2月15日 改革推進プロジェクト 方針2（国内放送）方針3（新サービス）・分科会

▽2月1日に引き続き、次期経営計画の策定に向けて、「改革推進プロジェクト・国内放送、新サービス分科会」を開催した。前回の討議を踏まえ、今後の国内放送・新サービスの基本方針、方向性等について意見交換を行い、議論を深めた。

## 2月22日 改革推進プロジェクト 方針2（国内放送）方針3（新サービス）・分科会

▽2月15日に引き続き、「改革推進プロジェクト・国内放送、新サービス分科会」を開催。国内放送・新サービスの基本方針等のほか、新技術の開発、活用等について情報共有と意見交換を行った。

## 2月24日 改革推進プロジェクト 方針5（国際放送）・分科会

▽国際放送に関係する各部局の担当者が出席し、「改革推進プロジェクト・国際放送分科会」を開催。次期経営計画の策定に向け、国際放送の現状と課題を確認するとともに、今後の基本方針、方向性等について意見交換を行った。

## 2月25日 改革推進プロジェクト 方針4（地域）・分科会

▽1月31日に引き続き、各拠点局の副局長と、地域放送に係る本部各部署の担当者が出席し、「改革推進プロジェクト・地域分科会」を開催した。前回の討議を踏まえ、次期経営計画の策定に向けて、今後の地域放送に関する基本方針、方向性、拠点局の支援機能、本部の支援、人材育成の仕組み、新サービスへの対応、要員などについて意見交換を行い議論を深めた。

## 2月25日 改革推進プロジェクト 方針6（完全デジタル化）・分科会

▽地域分科会に続いて、「改革推進プロジェクト・完全デジタル化分科会」を開催。完全デジタル化の進捗状況について情報を共有するとともに、次期経営計画に向け、完全デジタル化以降の業務体制、放送・サービスの充実に向けた体制整備などについて、意見交換を行った。

## 3月 11日 改革推進プロジェクト 全体会議（第11回）

▽次期経営計画の策定に向けた作業の進捗状況や今後のスケジュール、さらにデジタル化の進捗状況、アナログ放送終了に向けた今後の対応、デジタル化推進に向けた取り組みについて情報共有と意見交換を行った。

▽第4四半期の業務報告の作成についてスケジュール等の確認を行った。

▽23年度の部局目標と「放送局のちから」の最終確定に向けた作業の進め方、スケジュールについて確認するとともに、「放送局のちから」と取り組みについて、各局で積極的に視聴者に向けた情報発信を行っていくことを確認した。

▽23年度の事業計画工程表について、作業スケジュールや、9方針ごとの改定のポイントなどについて確認し情報を共有した。

## 平成22年度 番組コンクール受賞一覧【国内】

コンクール名	部門	賞	番組名等
日本数学会賞出版賞		日本数学会賞出版賞	NHKスペシャル「100年の難問はなぜ解けたのか ～天才数学者 失踪の謎～」取材班及び春日真人ディレクター
フランス・ルポルタージュ大賞	テレビ部門	優秀賞	「テレビでフランス語～魅惑の北フランス ノルマンディー&ブルターニュ」
橋田賞		橋田賞	「ダーウィンが来た！生きもの新伝説」
放送人グランプリ		奨励賞	「着信御礼！ケータイ大喜利」 * 三好健太郎(NEP)と制作スタッフ一同
科学ジャーナリスト大賞		科学ジャーナリスト大賞	ハイビジョン特集「素数の魔力に囚われた人々～リーマン予想・天才たちの150年の闘い」
日本映画テレビ録音協会 録音賞	ビデオ作品賞部門	最優秀録音賞	スペシャルドラマ「坂の上の雲」第1回「少年の国」放技・制作技術センター番組制作技術 音声 加村 武CE
		最優秀音響効果賞	スペシャルドラマ「坂の上の雲」第1回「少年の国」放総・デザインセンター音響デザイン部 西ノ宮 金之助CD
ひまわり褒章	団体部門	ひまわり褒章（団体部門賞）	日本放送協会(NHK)「すくすく子育て」をはじめとする、子育て支援のための番組制作への取り組み
放送文化基金賞	テレビドキュメンタリー番組部門	本賞	ハイビジョンふるさと発「嵐の気仙沼 ～港町の特別な一日～」
		番組賞	NHKスペシャル「日本海軍400時間の証言 第2回 特攻“やましき沈黙”」
			NHKスペシャル「証言ドキュメント 永田町・権力の興亡」第1回 1993-1995 “政権交代”誕生と崩壊の舞台裏
	BS特集 民衆が語る中国・建国60年「第1章 新中国誕生」「第2章 人民公社と大躍進の時代」		
	テレビドラマ番組部門	本賞	阪神・淡路大震災15年 特集ドラマ「その街のこども」
		優秀賞	広島発ドラマ「火の魚」
	テレビエンターテインメント番組部門	番組賞	連続人形活劇「新・三銃士」第21話 銃士への道のり
	ラジオ番組部門	優秀賞	FMシアター「かわり目 ～父と娘の15年～」
	個別分野賞	演出賞	広島発ドラマ「火の魚」の演出：黒崎博ディレクター
		演技賞	FMシアター「かわり目～父と娘の15年」での演技：橋爪功
		演技賞	広島発ドラマ「火の魚」での演技：尾野真千子
		脚本賞	特集ドラマ「その街のこども」、広島発ドラマ「火の魚」の脚本：渡辺あや
		美術賞	「新・三銃士」の美術：神藤恵(NHK)、井上文太(木林森)、菅澤敬一(スタジオ・ノーヴァ)、山村エナミ(スタジオ・ノーヴァ)
	個人・グループ部門(放送文化)		NHKスペシャル「マネー資本主義」制作グループ
		松平定知(フリーアナウンサー)「その時歴史が動いた」	
		「ピタゴラスイッチ」制作スタッフ	
個人・グループ部門(放送技術)		スペシャルドラマ「坂の上の雲」制作技術チーム	

コンクール名	部門	賞	番組名等	
ギャラクシー賞	テレビ部門	大賞	ETV特集「死刑囚永山則夫 獄中28年間の対話」	
		選奨	NHKスペシャル「日本海軍 400時間の証言」	
		選奨	ハイビジョン特集「“津軽”～生誕100年 太宰治と故郷～」	
		特別賞	ETV特集シリーズ「日本と朝鮮半島2000年」	
	ラジオ部門	優秀賞	FMシアター「心にナイフをしのばせて」	
	テレビ部門	奨励賞		NHKスペシャル シリーズ JAPANデビュー 第1回「アジアの“一等国”」
				ETV特集「いま憲法25条”生存権“を考える～対論 内橋克人 湯浅誠」
				土曜ドラマ「遥かなる絆」
				沖縄慰霊の日特番「“集団自決”戦後64年目の告白～沖縄・渡嘉敷島～」
				ヒューマンドキュメンタリー「あと数か月の日々を～物理学者・戸塚洋二 がんを見つめる～」
				NHKスペシャル「マネー資本主義」
				佐野元春のザ・ソングライターズ
				NHKスペシャル「核は大地に刻まれていた～“死の灰”消えぬ脅威～」
				ETV特集 シリーズ 戦争とラジオ 第1回「放送は国民に何を伝えたのか」 第2回「日米電波戦争」
				NHKスペシャル「ONの時代」 第1回「スーパーヒーロー 50年目の告白」 第2回「スーパーヒーロー 終わりなき闘い」
				NHKスペシャル 自動車革命 第2回「スモール・ハンドレッド 新たな挑戦者たち」
				NHKスペシャル「立花隆 思索ドキュメント がん 生と死の謎に挑む」
				NHKスペシャル「真珠湾の謎～悲劇の特殊潜航艇～」
				追跡！ A to Z「見過ごされた15年～復興曲線が語る新事実～」
				福岡発ドラマスペシャル「母さんへ」
				ETV特集「裁判員へ～元死刑囚・免田栄の旅～」
				広島発ドラマ「火の魚」
			NHKスペシャル「命をめぐる対話“暗闇の世界”で生きられますか」	
ラジオ部門		「核のない世界を目指して」		

コンクール名	部門	賞	番組名等
ATP賞	ドラマ部門	グランプリおよび最優秀賞	ドラマ10「八日目の蟬」全6回
	ドキュメンタリー部門	最優秀賞	「二本の木」
	情報バラエティ部門		タイムスcoopハンター スペシャル「幕末決死行！～江戸牢獄・限界長屋の実態～」
	ドラマ部門	優秀賞	土曜ドラマ「外事警察」全6回
	ドキュメンタリー部門		ハイビジョン特集「少女たちの日記帳 ヒロシマ 昭和20年4月6日～8月6日」
			ハイビジョン特集「“津軽”～生誕100年 太宰治と故郷～」
ハイビジョン特集「プリズン・ドッグ～僕に生きる力をくれた犬～」			
情報バラエティ部門	あべ一座旗揚げ公演「あべ上がりの夜空に」		
			ハイビジョン特集「太宰治“人間失格”裁判」
石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞	公共奉仕部門	早稲田ジャーナリズム大賞	NHKスペシャル「日本海軍 400時間の証言」第1回「開戦“海軍あって国家なし”」第2回「特攻“やましき沈黙”」第3回「戦犯裁判“第二の戦争”」
菊池寛賞		菊池寛賞	NHKスペシャル「無縁社会～”無縁死”3万2千人の衝撃～」
「地方の時代」映像祭		優秀賞	ETV特集 「“水俣病”と生きる ～医師・原田正純の50年～」
		奨励賞	九州沖縄スペシャル「とうとがなし ばあちゃん ～与論島死者を弔う洗骨儀礼～」
科学放送高柳記念賞		科学放送 高柳記念奨励賞	NHKスペシャル「ハッブル宇宙望遠鏡 宇宙の始まりに挑む」
		科学放送 高柳記念企画賞	「人類よ 宇宙人になれ 立花隆vs小学生」
文化庁芸術祭	テレビ・ドキュメンタリー部門	大賞	NHKスペシャル「密使 若泉敬 沖縄返還の代償」
			NHKスペシャル「ふしぎがり ～まど・みちお 百歳の詩」
	テレビ・ドラマ部門	優秀賞	NHKスペシャル 終戦特集ドラマ「15歳の志願兵」
	ラジオ・ドラマ部門		FMシアター「薔薇のある家」
JRA賞馬事文化賞		JRA賞馬事文化賞	土曜ドラマ 「チャンス」
JRA賞馬事文化賞		文部科学大臣賞	NHKスペシャル「認知証を治せ！」
科学技術映像祭	自然・暮らし部門	優秀賞	NHKスペシャル「ホットスポット 最後の楽園」第1回 マダガスカル ～太古の生命が宿る島～

## 平成22年度 番組コンクール受賞一覧【国際】

コンクール名	部門	賞	番組名等
国際環境フィルムフェスティバル		特別賞(取り上げるテーマの優れた提示手法に対して)	NHKスペシャル「映像詩 里山 森と人 響きあう命」
アルペール国際動物フィルムフェスティバル		特別審査員賞	プレミアム8 ワイルドライフ「知られざるアフリカの大自然シリーズ 群れで生き抜く」
ヒューゴ・テレビ賞	子ども番組部門	奨励賞	「シャキーン！」
	ドラマ番組部門		広島発ドラマ「火の魚」
	ドキュメンタリー番組(社会・政治)部門		NHKスペシャル 揺れる大国 プーチンのロシア 第3回「離反か従属か～グルジアの苦悩～」
ワールドメディアフェスティバル	ドキュメンタリー(スポーツ)部門	金賞(部門1位)	SAMURAI SPIRIT 第2回「弓道」
	ドキュメンタリー(政治)部門		探検ロマン世界遺産スペシャル「記憶の遺産 アウシュビッツ・ヒロシマからのメッセージ」
	エンターテインメント(コメディ)部門	銀賞(部門2位)	星新一 ショートショート劇場
	エンターテインメント(家族向け)部門		テレ遊びパフォー！～長髪大怪獣ゲハラ 50分拡大スペシャル～
ニューヨーク・フェスティバル	ドキュメンタリー・情報部門(地域社会番組)	銀賞(部門2位)	NHKスペシャル「ヤノミ ～奥アマゾン 原初の森に生きる～」
フランス鳥類・自然映像祭		“持続可能な発展”特別賞	NHKスペシャル「映像詩 里山 森と人 響きあう命」
スロバキア国際環境映像祭 (Envirofilm)	ドキュメンタリー部門	スロバキア環境局長賞	NHKスペシャル 激流中国「告発せよ 摘発せよ ～環境破壊との闘い～」
ソウル・グリーンフィルム・フェスティバル祭		最優秀短編ドキュメンタリー賞	発掘アジアドキュメンタリー「私は黄砂と闘う」
アメリカ国際フィルム・ビデオ祭	エンターテインメント分野/アニメーション部門	グランプリ/ゴールドカメラ賞	アニメ「川の光」
	ミニシリーズドキュメンタリー部門	シルバースクリーン賞(部門2位)	NHKスペシャル マネー資本主義 第1回「“暴走”はなぜ止められなかったのか?～アメリカ投資銀行の興亡～」
	子ども番組部門	クリエイティブ・エクセレンス賞(部門3位)	天才てれびくんMAXピットワールド「緊急生放送! 過去と現在ふたつの部屋」
	ドラマ部門	クリエイティブ・エクセレンス賞(部門3位)	特集ドラマ「お買い物」
	30分未満ドキュメンタリー部門	クリエイティブ・エクセレンス賞(部門3位)	発掘アジアドキュメンタリー「私は黄砂と闘う」
	30分未満ドキュメンタリー部門	クリエイティブ・エクセレンス賞(部門3位)	発掘アジアドキュメンタリー「夢を織るプリンセス」
上海テレビ祭	外国アニメーション部門	銀賞	アニメ「川の光」
モンテカルロ・テレビ祭	フィクション番組(テレビ映画)部門	ゴールドニンフ賞	広島発ドラマ「火の魚」
バンフテレビ祭	ドキュメンタリー分野/歴史伝記番組部門	ロッキー賞	「ライブチヒの奇跡」
	ドキュメンタリー分野/政治番組部門	ロッキー賞	BS世界のドキュメンタリー「イランとアメリカ 対立の構図」
	ドキュメンタリー分野/社会人道番組部門	ロッキー賞	ハイビジョン特集「忘れられし王妃～イラン革命30年ふたりの女性の人生の空白～」
マツアル国際ネイチャーフィルムフェスティバル	人と自然部門	最優秀撮影賞	NHKスペシャル「世界里山紀行 フィンランド 森・妖精との対話」



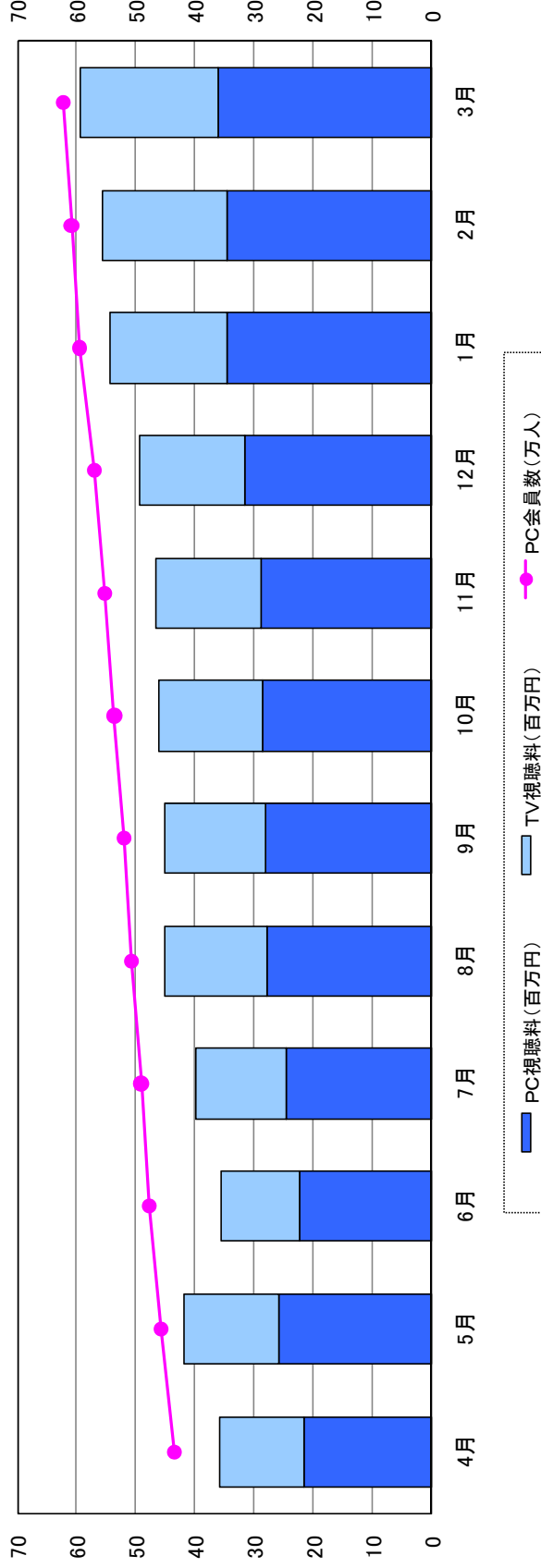
コンクール名	部門	賞	番組名等
中国ドラゴン賞(科学と教育に関するフェスティバル)	発見・発明部門	銀賞	ハイビジョン特集「素数の魔力に囚われた人々 ～リーマン予想・天才たちの150年の闘い～」
	教育部門	銀賞	NHKスペシャル「MEGAQUAKE 巨大地震」第2回 KOBE 15秒の真実 そのとき地下で何が
イタリア賞	テレビドラマ(単発ドラマ及びミニシリーズドラマ)部門	イタリア賞(部門最優秀賞)	広島発ドラマ「火の魚」
パリ・国際科学フィルムフェスティバル	ドキュメンタリー部門	脚本賞	ハイビジョン特集「素数の魔力に囚われた人々 ～リーマン予想・天才たちの150年の闘い～」
ABU賞	テレビ・子ども番組部門	ABU賞	連続人形活劇「新・三銃士」第20話 波乱の舞踏会
	テレビ・青少年番組部門	ABU賞	大科学実験「音の速さを見てみよう」
	テレビ・スポーツ番組部門	ABU賞	NHKスペシャル ミラクルボディー 第1回 滑降 時速160km 極限の恐怖に挑む
	テレビ・スポーツ番組部門	奨励賞	NHKスペシャル「浅田真央 キム・ヨナ “史上最高”の闘い」
	ラジオ・ドラマ番組部門	ABU賞	FMシアター「リバイバル」
日本賞	コンテンツ部門(生涯教育)	グランプリ日本賞、東京都知事賞	ハイビジョン特集「素数の魔力に囚われた人々 ～リーマン予想・天才たちの150年の闘い～」
	コンテンツ部門(児童向け)	文部科学大臣賞	大科学実験「音の速さを見てみよう」
国際ドラマフェスティバル in TOKYO	作品部門(連続ドラマ)	作品賞:優秀賞	大河ドラマ 龍馬伝
	作品部門(ローカル・ドラマ)	作品賞:ローカルドラマ賞	福岡発ドラマスペシャル「母(かか)さんへ」
	個人部門	個人賞:助演男優賞	香川照之「龍馬伝」での演技
		個人賞:助演女優賞	尾野真千子「火の魚」での演技
		個人賞:演出賞	黒崎博ディレクター「火の魚」での演出
特別部門	特別賞	大河ドラマ「龍馬伝」撮影チーム	
シカゴ国際子ども映像祭	子ども審査/大人審査(長編アニメーション)部門	それぞれ最優秀賞(部門第1位)	アニメ「川の光」
アジアテレビ賞	子ども番組部門	最優秀賞	大科学実験「音の速さを見てみよう」
	子ども番組部門	奨励賞	シャキーン!
バンコク科学映像祭	12歳以下子ども向け科学番組部門	教育賞	大科学実験「音の速さを見てみよう」
ヒストリーメーカーズ賞	歴史ドラマ部門	歴史ドラマ部門 最優秀賞	ハイビジョン特集フロンティア「“種の起源”誕生まで ～ダーウィン 苦悩の日々～」

## 平成22年度 NOD売上・PC会員数推移

(資料3)

(百万円)

(万人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
視聴料(百万円)	36	42	35	40	45	45	46	47	49	54	55	59	554
うちPC視聴料	21	26	22	25	28	28	28	29	31	35	34	36	343
うちTV視聴料	14	16	13	15	17	17	18	18	18	20	21	23	211
配信番組(本数)													
特選ライブラリー	2,838	2,937	3,032	3,043	3,115	3,245	3,446	3,558	3,639	3,718	3,934	4,084	—
見逃番組・ニュース	809	852	732	744	741	838	866	851	776	825	764	577	—
PC会員数(万人)	43.5	45.7	47.7	49.1	50.6	52.0	53.6	55.3	57.0	59.4	60.9	62.2	—